

空散用肥料参考開度目安表

機種:DJI製 T10/T30	1P
機種:DJI製 MG-1/T20【円盤メモリ3設定】	2P
機種:DJI製 MG-1/T20【円盤メモリ15設定】	3P

セントラルグリーン株式会社

営業担当:小畑 宗太

■開度目安表【機種:DJI製 MG-1/T20】※円盤メモリ3設定

往復散布パターン

品名	窒素成分 (10a当り)	施肥量 =散布量 (10a当り)	粒剤設定値		飛行想定速度 (km/h)	散布幅 (m)	高度 (m)
			開度 (%)	回転数 (rpm)			
スカイアシスト 45%	1kg	2.2kg	40~45	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	3.3kg	55~60	900	15~	5	2~2.5
	2kg	4.5kg	100	900	13~	5	2~2.5
穂肥一発肥料377号 30-7-7	1kg	3.3kg	55~60	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	100	900	12~	5	2~2.5
NKS306号 30-0-6 ケイ酸9%	1kg	3.3kg	55~60	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	100	900	12~	5	2~2.5

※計算上の速度

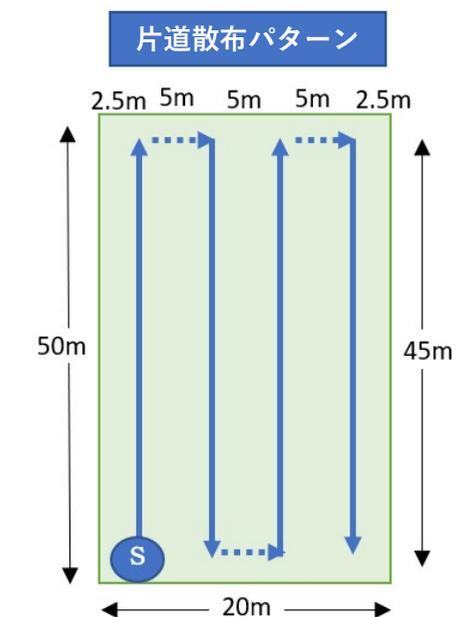
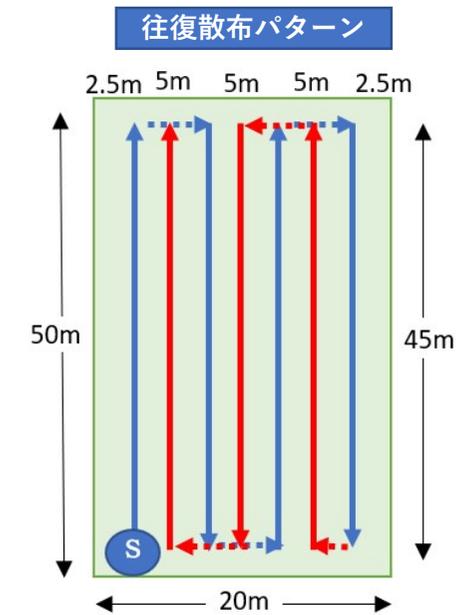
片道散布パターン

品名	窒素成分 (10a当り)	施肥量 =散布量 (10a当り)	粒剤設定値		飛行想定速度 (km/h)	散布幅 (m)	高度 (m)
			開度 (%)	回転数 (rpm)			
スカイアシスト 45%	1kg	2.2kg	65~	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	3.3kg	100	900	10~	5	2~2.5
	2kg	4.5kg	-	-	-	5	2~2.5
穂肥一発肥料377号 30-7-7	1kg	3.3kg	100	900	10~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	-	-	-	5	2~2.5
NKS306号 30-0-6 ケイ酸9%	1kg	3.3kg	100	900	10~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	-	-	-	5	2~2.5

※計算上の速度

- ・上記の設定値は目安です。圃場条件や機械の個体差、農薬の物性により散布量は変動します。
- ・実際の散布に当たっては、圃場の形や風向き等の条件に応じて、各設定や飛行ルート調整が必要です。
- ・シャッター開度・散布幅の微調整は吐出状況に応じて行って下さい
- ・オペレーターの安全が確保できるよう、機体と適切な距離を保ってください。

散布航路イメージ※10a圃場(例)



■開度目安表【機種:DJI製 MG-1/T20】※円盤メモリ15設定

往復散布パターン

品名	窒素成分 (10a当り)	施肥量 =散布量 (10a当り)	粒剤設定値		飛行想定速度 (km/h)	散布幅 (m)	高度 (m)
			開度 (%)	回転数 (rpm)			
スカイアシスト 45%	1kg	2.2kg	30~35	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	3.3kg	45~50	900	15~	5	2~2.5
	2kg	4.5kg	60~	900	15~	5	2~2.5
穂肥一発肥料377号 30-7-7	1kg	3.3kg	45~50	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	60~65	900	15~	5	2~2.5
NKS306号 30-0-6 ケイ酸9%	1kg	3.3kg	45~50	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	60~65	900	15~	5	2~2.5

※計算上の速度

片道散布パターン

品名	窒素成分 (10a当り)	施肥量 =散布量 (10a当り)	粒剤設定値		飛行想定速度 (km/h)	散布幅 (m)	高度 (m)
			開度 (%)	回転数 (rpm)			
スカイアシスト 45%	1kg	2.2kg	55~60	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	3.3kg	70~	900	15~	5	2~2.5
	2kg	4.5kg	80~90	900	15~	5	2~2.5
穂肥一発肥料377号 30-7-7	1kg	3.3kg	70~	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	100	900	15~	5	2~2.5
NKS306号 30-0-6 ケイ酸9%	1kg	3.3kg	70~	900	15~	5	2~2.5
	1.5kg	5kg	100	900	15~	5	2~2.5

※計算上の速度

- ・上記の設定値は目安です。圃場条件や機械の個体差、農薬の物性により散布量は変動します。
- ・実際の散布に当たっては、圃場の形や風向き等の条件に応じて、各設定や飛行ルート調整が必要です。
- ・シャッター開度・散布幅の微調整は吐出状況に応じて行って下さい
- ・オペレーターの安全が確保できるよう、機体と適切な距離を保ってください。

散布航路イメージ※10a圃場(例)

